

学科名	経営ビジネス学科						
科目名	現代文化論						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	水4		
必修・選択の別	選択						
担当者	岡 宏						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・21世紀に生きる指針を探ることができる。 ・人間のこころのよりどころを如何に見つけるか考えることができる。 ・人間とは何かについて考えることができる。 ・精一杯つよく明るく生きる生き方を考えることができる。 						
内容	<p>9月17日 第1回:導入講義(講義の進め方と概要、成績評価について)、</p> <p>9月24日 課題ドキュメンタリー映画①「風のかたち」上映(本講義を受講登録する人は、必ず視聴して下さい。)</p> <p>10月1日 第2回:「文化とは何か」言葉の学としての文化(聴くことの意味と力)</p> <p>10月8日 第3回:課題ドキュメンタリー映画②「大丈夫。」上映</p> <p>10月15日 第4回:「思い、感じ、考える」視点の整理</p> <p>10月22日 第5回:課題ドキュメンタリー映像「知るを楽しむ」細谷亮太『生きようよ』③)</p> <p>10月29日 第5回:細谷亮太『生きようよ』</p> <p>11月12日 第6回:「家族論」①</p> <p>11月19日 第7回:「家族論」②</p> <p>11月26日 第8回:「家族論」③</p> <p>12月3日 第9回:「家族論」の行方</p> <p>12月10日 第10回:「家族崩壊」</p> <p>12月17日 第11回:中島みゆき「問題集」の意味するところ</p> <p>12月24日 第12回:スーザン・バーレイ『わすれられないおくりもの』</p> <p>1月14日 第13回:『竹取物語』とアンデルセン</p> <p>1月21日 第14回:移植医療の文化論</p> <p>第15回:現代文化のゆくえ</p>						
成績評価基準	中間試験(30%)、定期試験(50%)、毎回授業の復習(15%)、レポート(5%)の成績を総計して評価点とする。						
授業到達目標の達成度	<p>「21世紀に生きる指針を探ることができる。」「人間のこころのよりどころを如何に見つけるか考えることができる。」は概ね理解できた。</p> <p>「人間とは何かについて考えることができる。」概ね考えることが出来ていた。</p> <p>「精一杯つよく明るく生きる生き方を考えることができる。」ほぼ達成できたといえる。</p>						
反省点	<p>生きるということをの多義性を映像を紹介しつつ、人間理解の視点を基軸に文化形成過程の考察を行った。概ね思索的に文化の概念を理解する糸口に達することは出来たと思う。残念なことは、時間の関係上、家族とともに生きる意味やその多義性について、さらに踏み込んだ思索まで行かなかった。より広範囲な独自の思索へと展開できるように今後の課題としたい。</p>						
来年度の計画	授業計画は、概ね今年度と同様に進める予定だが、反省点での記述を改善するための個別添削を検討したい。						
授業評価アンケートに対するコメント	総合的に見て、特に問題はないと思われる。今後は予習・復習励行のためのアドバイス、さらには出席率向上に向けた健康的かつ建設的な取り組みを考えたい。						
履修登録者数	80名	定期試験 受験者数	52名	合格者数	51名	合格率	98%